

光回線(超高速情報通信網)整備に  
関するアンケート調査

報 告 書

江 田 島 市

# 目次

## I. 調査の概要

- 1. 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 調査の方法等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3. 分析・表示について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

## II. 市民アンケート結果

- 問1. 性別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 問2. 年齢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 問3. 居住地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 問4. インターネットを利用していますか・・・・・・・・・・ 5
- 問5. インターネットをどのような機器で利用していますか 7
- 問6. インターネットの接続方法を教えてください・・・・・ 8
- 問7. インターネットを何に利用されていますか・・・・・・ 9
- 問8. 問6でお答えになった接続方法で、満足されていますか 11
- 問9. 問8の理由について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 問10. インターネットを利用しない一番の理由は何ですか 13
- 問11. どんなきっかけがあればインターネットを利用しようと思いませんか 14
- 問12. 光回線のサービスが利用できるようになった場合、加入したいか 16
- 問13. 問12の理由について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 問14. 可能となるサービスのうち利用してみたいサービスについて 18
- 問15. 光回線などの超高速インターネットサービスが利用できるようにすべきか 20
- 問16. 問15の理由について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- 問17. 光回線等の整備について、あなたの考えに近いもの 22

## III. 事業所アンケート結果

- 問1. 組織形態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- 問2. 業種・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
- 問3. 従業員数（支店の場合は支店内の人数）・・・・・・・・ 26
- 問4. 所在地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- 問5. 業務にインターネットを利用されていますか（接続方法） 28
- 問6. インターネットを何に利用されていますか・・・・・・・・ 31
- 問7. 現在のインターネット環境で業務上支障は生じていませんか 33
- 問9. 貴事業所が今後の企業活動としてインターネットの利用を考えているもの 34
- 問10. 光回線のサービスが利用できるようになった場合、加入したいか 36
- 問12. 可能となるサービスのうち活用してみたいサービス 37
- 問13. 江田島市内の今後の経済活動のため、光回線の果たす役割をどう考えますか 38
- 問14. 問13の理由について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
- 問15. 光回線等の整備について、貴事業所の考えに近いもの 41

## IV. 自由意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43

# I. 調査の概要

## 1 調査の目的

江田島市において光回線整備に関して利用者がどのようなインターネット回線を利用しているのかを把握し、市民、事業者の声を聞くことで、光回線に対してどのような考えを持っているかを理解し、情報の充実化や、今後の利便性向上を図ることを目的としました。

## 2 調査の方法等

- (1) 調査地域 江田島市内
- (2) 調査対象者 市民 : 20 歳以上の市内居住者 2,000 人 (無作為抽出)  
事業者 : 江田島市内の本社・本店・支社・営業所  
130 事業所 (無作為抽出)
- (3) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (4) 回収結果 回収数 : 市民 681 件 (回収率 34.1%)  
: 法人事業所 68 件 (回収率 52.3%)
- (5) 調査期間 平成 24 年 10 月 19 日 (金) 発送  
平成 24 年 11 月 9 日 (金) まで

## 3 分析・表示について

- 1. 比率については少数点以下第 2 位以下を四捨五入しているため、比率が 0.05 未満の場合には 0.0 として扱っている。また、この四捨五入のため、比率計がちょうど 100.0 とならない場合がある。
- 2. グラフの中の計はその項目の回答者の実数で、比率算出の基数となる。
- 3. 複数回答を許している項目については、原則として、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、比率計は 100% を超えている。